



## 小学生バスケットボール大会

11月24日にビックアリーナにて、小学生バスケットボール大会が開催されました。普段からバスケットボールに慣れ親しんでいる児童もそうでない児童も、試合に熱中しました。笑顔でボールを追いかける姿が印象的でした。



### 編集後記

バスケットボール男子代表がワールドカップアジア予選で4連敗の後8連勝し、21年ぶりに本戦への自力出場を決めました。身長210cmのファジーカス・ニックの加入により戦術に変化があったということですが、私が何より印象に残ったのは、他の選手が「それによ

て思い切ってシュートを打てるようになった」という話です。「思い切ってプレーする」「自信をもってプレーする」、学生では一層大切なことのように感じます。気持ちの強い選手を育成できるように、指導をしていきたいと思っています。(S.M)



## 平成30年度岐阜県高等学校バスケットボール選手権大会

11月に行われた岐阜県高等学校バスケットボール選手権大会では、高山西高等学校男子が準優勝と活躍しました。今回は最後の大会となった3年生にインタビューしました。

### ウィンターカップを終えて

高山西高等学校男子バスケットボール部 蓑谷真輝

私は昨年5月のインターハイ岐阜県予選会で、準優勝という結果で終わり、非常に悔しい思いをしました。この思いを晴らすには、10月のウィンターカップまでバスケットを続け、ファイナルで勝つしかないとの迷いも無く決意しました。

3年生の私にとっては高校生活最後の大会なので、毎日の練習や対外試合は大変充実しており、今までに無い楽しささえ感じました。チームは3回戦から出場し、順調に勝ち上がり予定通りファイナルに進出しました。地元ビックアリーナでの試合でしたが、夢破れ全国大会に行くことが出来ませんでした。

今思い起こせば、最高のチームで最後までやりきれたことは、私にとって一生の思い出となりました。仲間、先生、コーチ、家族の支えがあったからこそ大好きなバスケットボールを続けられたと感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



TAKAYAMA AMATEUR BASKETBALL ASSOCIATION

飛騨高山のバスケットボールを盛り上げよう!

編集・発行：高山市バスケットボール協会

tabba.jp



高山市バスケットボール協会

# 広報誌

2019-05号 (Vol.020)

高山市バスケットボール協会は  
賛助会はじめ協会を支えてくださる  
皆様のお力添えをいただきながら、  
地方が疲弊化する中で若者に  
バスケットボールを通じて夢と誇りを持って頂き、  
この地域を支える大きな担い手としての存在を希望しながら  
これからも協会活動に邁進していきます。





## 平成30年度岐阜県高等学校新人バスケットボール大会

1月に行われた岐阜県高等学校新人バスケットボール大会では、高山西高等学校男子が準優勝、斐太高等学校男子がベスト16、高山西高等学校女子がベスト8と高山市のチームが健闘しました。今回は各チームの代表の生徒に「新人戦を終えて～これからのむけての意気込み」をインタビューしました。

### 高山西高等学校男子バスケットボール部 副キャプテン 不破尚生

4点差。県新人戦決勝リーグ全勝同士でのファイナル。美濃加茂高校に惜敗しました。

私たちのチームは、インターハイに出場することを目標にしています。今大会での敗戦の要因は、私を含め数名が大会直前に怪我やインフルエンザなどで体調を崩し、万全なコンディションで挑めなかったことだと感じています。体調管理の甘さが自分たちの弱さでした。同じ轍は踏みません。夏は雪辱を果たします。

飛騨地区に優勝旗を持ち帰り、鹿児島県で開催される全国大会に必ず出場します。



### 斐太高等学校男子バスケットボール部

### キャプテン 酒井 駿

私たちは、今回県大会ベスト8を目標に新人大会に臨みました。しかし、ベスト8を懸けた試合に勝つことができず、残念ながら目標を達成できませんでした。とても悔しく思うのと同時にたくさんの課題が浮き彫りになりました。それらの課題を克服するために、文武両道を目指す私たちは限られた時間のなかで質の良い練習が必要です。次の大会に向けて斐太高校らしく、一人一人が質の高い練習をおこない切磋琢磨していきます。



### 高山西高等学校女子バスケットボール部

### キャプテン 八野 華々穂

私達は、今回の新人戦をベスト8で終えました。今大会を終えて学んだ事が多くあります。特に個の弱さという所が大きく影響したと感じています。だからこそ今私達は主体性を中心に個々を高めて常に一人ひとりが考えながら練習しています。夏の大会では、一人ひとりが主体性を持ち、私達の武器であるディフェンスから速攻を中心としたプレーで、勝ち上がっていきたくと思います。



## 県ミニバスケットボール大会4連覇&東海大会優勝

高山ミニバスケットボールクラブ男子が、11月に行われた第41回県ミニバスケットボール大会で4連覇を成し遂げました。決勝では最後まで粘り強く戦い、劇的な逆転勝利を収めました。さらに、12月に行われた東海大会でも優勝を飾りました。これは岐阜県勢初であり、まさに快進撃です。キャプテンの思いを届けます。

### 絶対勝つぞ！

畑尻史人

僕は、このバスケットボールを通じて、とても多くのことを学びました。バスケットボールの技術はもちろんのこと、チームワークや上下関係、礼儀などをコーチや先輩、仲間たちに教えていただきました。時には自分や仲間が厳しく怒られることもあります。みんなでフォローし合うことで結束力を高めることができました。絶対勝つぞ。これは、一番大事な試合の前に全員で円陣を組んで発する掛け声です。岐阜県大会や東海大会でも決勝戦の前にコーチにも加わってもらいみんなで勝利を誓いました。

僕がキャプテンになったばかりのころは、試合のたびに思うように行かずイライラしてしまいチームの仲間にも嫌な思いをさせてしまいました。でも、試合を重ねていくうちに、仲間の強みや弱みも理解し、助け合い、声を掛け合うことでうまくいくようになり、こうした大事な試合の時に、全員がいつも以上の力を発揮することができました。優勝できたことはもちろん嬉しいんですが、僕は、こうした時に心を一つにしてみんなで戦えたことが本当に嬉しかったです。

これからもバスケットボールを通じて学んだことを生かして何事にも頑張りたいと思います。

